

2~4面 となりの席で困ってます!

5面 YWCAの日本語学習支援リスト

6~7面 名古屋YWCAグローバルスクール

The Young Women's Christian Association

YWCA

(第32総会期主題聖句)
平和を実現する人々は幸いです
—マタイによる福音書5章9節—

(日本YWCAの使命(ミッション))
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

(日本YWCAのビジョン)
地域で女性達が主体的に活動することを通して、
以下の社会をめざします。
(1) 平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会
(2) 女性と子どもの尊厳を守る社会
(3) 若い女性がリーダーシップを発揮する社会
(4) 多世代・多文化で多様な背景を
持つ人びとを尊重する社会

4

APRIL 2020

No.755

www.ywca.or.jp

知っていますか?

外国から来た 子ども の 学校問題

いま、日本の在留外国人は約282万人*。

195の国・地域から来た多様な人々が、私たちの身近な地域で暮らしている。

政府は「多文化共生社会」を推進しているが、

見過ごされがちなのが、子どもたちのこと。

さまざまな背景を持つ外国から来た子どもたちが、

日本の教育制度のもとで直面している問題について探ってみよう。

*2019年6月末現在における
在留外国人人数(法務省)



エンパワーするNGO



YWCA
の本棚



『となりの難民
日本が認めない99%の人たちの
SOS』

織田朝日/著 旬報社/発行
1500円+税

「体調が悪いので、お医者さんに行きたいと頼んだが、せまい部屋に閉じこめられてなにも聞き入れてくれなかった」

著者に届いたSOSの一例だ。日本という国を頼りにやってきて、在留資格を認められず「非正規滞在者」となってしまう人々の叫びである。母国に帰ることが困難なため、日本政府に難民申請をするが、なかなか認定されない。日本の難民認定率は1%未満だ。難民申請中、彼らは就労を禁止され、保険証もなく、移動の自由も制限され、困難に直面しながら暮らす。そしてある日、問答無用に入管センターの収容所に収容されて、医療を受ける権利を制限されたり、心身への虐待を受けたり、自由に通信できなかったりする生活を強いられる。「仮放免」で解放されても、いつまた収容されるかわからない。子どもたちの問題も深刻だ。日本で育ち、日本の学校教育をまっとうしても、正式な在留資格がないために、就労する権利がないのだ。

編集部 西文字

book review

ご協力ありがとうございます

- 賛助費
- 須藤和子 淀川敬子 白木直江
 - 桃井明男 外崎弘子 鈴木伶子
 - 都木恵子 野村春江 仁木三智子
 - 益田明美 青木恵子 伊藤眞智子
 - 田中宏子 苗木直子 田中美紗子
 - 村松武司 河内常男 小谷野淳子
 - 設楽順子 幸田良子 高月三世子
 - 桐美津保 ランデスハル
 - 日本基督教団六角橋教会
 - 恵泉女学園中学校 高等学校 宗教部
 - 玉川聖学院
 - 大阪女学院高等学校
- ピースメーカーズ募金
(平和をつくり出す女性のリーダーシップ養成)
- 須藤和子 河村双葉 白木直江
 - 小谷充子 鈴木伶子 都木恵子
 - 野村春江 益田明美 玉寄順子
 - 西文字 岩崎妙子 仁木三智子
 - 国井愛 岡井昌光 児玉佐代子
 - 斎藤喜子 古川道子 モリアン
 - 清塚典子 佐藤和子 伊藤眞智子
 - 伊藤明彦 永瀬雅子 鹿島千代乃
 - 松浦恵理 大伏邦明 小谷野淳子
 - 諸原暁子 柴田恵子 宮城崇美子
 - 日本聖公会東京聖十字教会 エンジェルリングの会
 - 日本キリスト教会札幌聖園教会 日曜学校
 - 日本基督教団田園調布教会 シオン会
 - 日本基督教団都島教会
 - 日本キリスト教会横浜長老教会
 - 日本キリスト教会扇町教会
 - 日本基督教団新潟教会
 - ふじみ野バプテスト教会
 - 日本キリスト教会聖ヶ丘教会
 - 日本キリスト教会千葉教会
 - 日本キリスト教会時田教会
 - 日本キリスト教会西千葉教会
 - 日本基督教団ひびりが丘教会
 - 日本聖公会宮古聖ヤコブ教会
 - 日本基督教団平安教会
 - 東洋英和女学院中部高等部 母の会
 - 東洋英和女学院 同窓会
 - シオン幼稚園
 - 活水高等学校 活水中学校
 - 日ノ本学園高等学校

- 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 生徒・教職員一同
- 山梨英和学院
- 尚絅学院高等学校
- 広島女学院 中等高等学校
- 福岡女学院 中学校 高等学校
- 女子聖学院 中学校 高等学校
- 女子学院
- 西南学院 中学校 高等学校
- 矯風会 倉敷グループ
- 東京YWCA 国領ミートینگ有志
- 釧路YWCA
- 福島YWCA
- 松山YWCA
- 地域YWCA助成金
- 九州ルーテル学院
- 世界YWCA総会派遣募金
- 白木直江 都木恵子 町田洋子
 - 斎藤喜子 柴田恵子 古川道子
 - 吉田徹 清塚典子 モリアン
 - 田中綾 吉田聖希 高月三世子
 - 万年禮 桐美津保 長尾真知子
 - 寺島順子 梅澤昌子 横山由美子
 - 伊原千晶 新倉春美 小笠原公子
 - 宮本真生 増井さとみ
 - 一般財団法人函館YWCA
 - 弘前YWCA
 - 一般財団法人平塚YWCA
 - 公益財団法人京都YWCA
 - 一般財団法人呉YWCA

- 湘南YWCA
- 松山YWCA
- 災害時支援募金
- (国内外の災害被災者支援)
- 大伏邦明 仁木三智子
 - 日本福音ルーテル小石川教会
 - 恵泉女学園 中等高等学校 宗教部
 - 公益財団法人神戸YWCA
 - 一般財団法人呉YWCA
 - 長崎YWCA
- (台風19号等被災者支援募金)
- びわこ☆123キャン
 - 東京YWCA まきは保育園 クリス
 - マス会
 - 東京YWCA
 - 一般財団法人函館YWCA
 - 弘前YWCA
 - 公益財団法人京都YWCA
 - 沖縄YWCA
 - 匿名
- 東日本大震災被災者支援募金
- 常葉俊子 小谷充子 青木恵子
 - 山本鉄子 中村由里 仁木三智子
 - 木村浩子 設楽順子 伊藤眞智子
 - 古川道子 浅原由美 古谷都紀子
 - 桑原貴子 大伏邦明 清水嶋洋子
 - 露木美奈子
- 地球つくりくらぶ・善隣館
- 日本バプテスト同盟東京平和教会
- 駒込集会所
- 日本キリスト教団市川三本松教会
- 玉成保育専門学校
- 捜真女学校 同窓会・PTA
- 静岡YWCA
- 公益財団法人神戸YWCA
- 松山YWCA
- 長崎YWCA
- ソフトバンクつながる募金
- カーロサポーターズ 60件
- (2019年12月16日〜2020年2月15日敬称略)

発行所 公益財団法人日本YWCA 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室
Tel. 03-3292-6121 Fax.03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp www.ywca.or.jp

旬な情報発信しています | メルマガ登録 y-net@ywca.or.jp | お名前を送ってください / フェイスブック www.facebook.com/YWCAJapan

メールにてご意見・ご感想をお寄せください。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。 office-japan@ywca.or.jp 無断での複写・転用・転載はご遠慮ください。

となりの席で、困ってしまいます！

私たちの身近な地域に住む、外国から来た子どもたち、学校の参観日で見かけることや、通学路を歩く姿を目にすることもあるだろう。近くにいるのに私たちには見えにくい、子どもたちが抱えている困難とは……。



日本語ネイティブではない子どもたち

日本に住んでいて、日本語の学習支援を必要としている子どもたち。その実像はさまざま。母国を離れて日本に移り住んだ子。日本で生まれ育った子。見た目と名前で日本人と見なされる子もいる。近年多いのは、思春期に呼び寄せられるケースだ。母国に子どもを残して日本で働いていた親が、生活の基盤が整ったことで、

子どもを呼んで家族で暮らすのだ。ほとんどの子は母国で日本語を学ぶことなく、来日して初めて異国の言葉に接する。そして日本語を習得しながら、学校教育を受けるのだ。

中学校卒業が困難なことも

母国で義務教育（日本の小中学校に相当）を終えずに来日した場合、学齢（義務教育の対象年齢）であれば、地域の公立小中

話せるけれど授業は……

「日本に来たくて来たわけじゃない」日本語教室の支援を受ける子どもたちの多くは、最初こんな気持ちでやって来るといふ。親に呼び寄せられて、あるいは連れて来られた子どもたちは、ここにいてことに納得しているとは限らない。目的や夢をもって日本を選んだ留学生との大きな違いだ。子どもたちのモチベーションを高

めるためにも、精神的なフォローを含めた包括的支援が必要になる。

日本で過ごすうちに、子どもたちは比較的早い段階で「生活言語」を覚えるという。一方で、周囲の日本人の児童や生徒と同程度に授業を理解し考える「学習言語」を身につけるには、平均7年はかかるとされる。日常会話を通じるために「日本語ができる」と見なされて、つまづいていることを見逃されてしまうのだ。また、母国で成績優秀だった子が「勉強ができない」としてツテルを貼られて自信を失ったり、将来の

選択肢が狭められたりするケースもある。言語能力には個人差があることも忘れてはならない。生活言語であっても、すべての子どもが早々に話せるようになるわけではない。同じ言語環境で暮らす兄弟姉妹の間でも差が出てくる。日本語教育には、子どもたち一人ひとりに寄り添った息の長い支援が求められるのだ。

高校進学への高すぎるハードル

いまや日本の高校進学率は97%を越えて



は別に日本語学習が必要だ。そうした児童や生徒に対しては、授業中に別室で日本語を集中的に学習する「取り出し授業」が行われる。ここで十分な個別指導を受けることが最も効果的な学習といわれるが、対応できていない学校がほとんどだ。

日本語教育は、その質、量ともに、自治体や学校（さらには校長）による格差が大きい。外国人居住者の多い地域だからといって支援が厚いわけでもないようだ。学校に十分な支援体制が整っていない場合、外部の日本語教室に通うことになる。大抵は自治体やNPOが運営する教室で、費用は安価か無料。しかし、そこまで通う交通費を捻出できない子、家の仕事を手伝うために通えない子もいる。家庭の経済状況に

Column 1 就学不明の子どもたちが約2万人いる!?

文部科学省によると、日本では外国籍の子どもに義務教育（小中学校）の就学義務はない。ただし、国際人権規約などを踏まえて、公立の小・中学校を希望する場合には、日本人の児童生徒と同様に無償で受け入れることになっているが、これも自ら希望して手続きしないと入学できない。

そもそも日本国籍を持たない子どもは教育委員会が作成する「学齢簿」に記載されないため、就学通知が届かない。自分の子に無償で就学できる権利があることすら知らない親もいる。また、小中学校に通っても何らかの理由で通学できなくなった場合、日本人は30日以上欠席すると「不登校」扱いになり形式的にも卒業するが、外国籍の子どもは「除籍」になるケースもある。2019年に文科省が初めて調査をしたところ、学校に行っているか分からない「就学不明」の外国籍の子ども数は、国内で約2万人となった*。

いる。高校に行くのが当たり前前の社会だ。日本語の支援を受けている子どもたちの中にも進学希望者が増えている。しかし、ハードルは非常に高い。前述のように、中学校の卒業資格のない子どもは、年に1度実施される中学卒業程度認定試験に合格するか、夜間中学を卒業しなければならぬ。そのうえ、公立の全日制高校の入学試験に挑むには、相当な日本語能力が求められる。自治体によって、受験時間の延長などの措置をとる高校もあるが、ごくわずかだ。他方、定員割れした定時制高校は比較的入学しやすいとされている。ただし、進学できても、授業を理解することは受験よりも難しい。進級できずに退学する子もいる。昼間に働きながら難しい勉強に取り組みモチベーションを保ち続けることは、並大抵ではないのだ。

みんなで教育につなげよう

外国から来た子どもたちが教育を受けられなかったら、どうなるだろうか。中学あるいは高校を卒業していない人が、日本の社会で自立し安定した生活を続けることは非常に難しい。経済的な困難だけでなく、地域社会にもなじみず孤立しかねない。地域で異文化間の交流がなければ、互いを理解し合うことなく差別や偏見が助長され、

*「外国人の子供の就学状況等調査結果」(文科省)

子どものための YWCAの日本語学習支援

全国5地域のYWCAでは、外国にルーツを持つ子どもたちを対象に日本語の学習支援を展開。一人ひとりのニーズにあった学びを提供すると同時に、子どもたちが安心して自分らしく居られる場づくりを実践している。



東京YWCA
武蔵野センター

いちごの部屋

ベテランを中心とするボランティアが一对一で日本語や勉強を教えるほか、日本社会に適応し健全に成長できるよう細やかな支援を行う。キャンプや体験的プログラムなどのお楽しみも充実。

対象	就学前児～中学生	1回あたりの参加者	5～8名	参加費	1回250円
活動日	木曜17:00～18:30(小学生以下) 19:00～20:30(中学生)、土曜10:30～12:00				
場所	東京YWCA武蔵野センター	問い合わせ	tel 0422-27-5871		

名古屋YWCA

グローバルスクール
子ども日本語教室

名古屋YWCA日本語教師養成講座出身の日本語教師を中心とする先生が、日本語ゼロからサポート。日本社会で生活できるよう、高校進学から在学中のフォローまで継続的な支援体制をとる。

対象	小学生～高校生	1回あたりの参加者	20～35名	参加費	1回400円
活動日	火曜17:00～20:00(中学生・高校生)、 木曜13:30～15:30(高校生・学齢超過生・過年度生)、16:00～18:00(小中学生)				
場所	名古屋YWCA会館	問い合わせ	tel 052-961-7707		

京都YWCA

多文化社会を生きる
外国ルーツを持つ
子どもたちへの
教育支援

母語と日本語での学習・進学支援を行いながら、家庭・社会とのコミュニケーションを通して、「異なること」が「個性」として用いられ、個々のアイデンティティを探る場としている。

対象	多文化ルーツの子ども	1回あたりの参加者	6名	参加費	1回100円
活動日	月曜17:00～19:00(学習支援)、土曜・祝日、学校の長期休み(社会体験)				
場所	京都YWCA、野外	問い合わせ	tel 075-431-0351		

神戸YWCA

はっぴー・さぼーと

神戸YWCA学院で日本語教師養成コースを修了した有資格者とボランティアが、学校の授業や勉強に役立つ日本語学習をサポートする。第2土曜日は先輩との交流、ゲームなど楽しいプログラムを実施。

対象	中学生・高校生および各入学希望者	1回あたりの参加者	8名	参加費	無料
活動日	土曜13:30～16:00				
場所	神戸YWCA本館	問い合わせ	tel 078-231-6201		

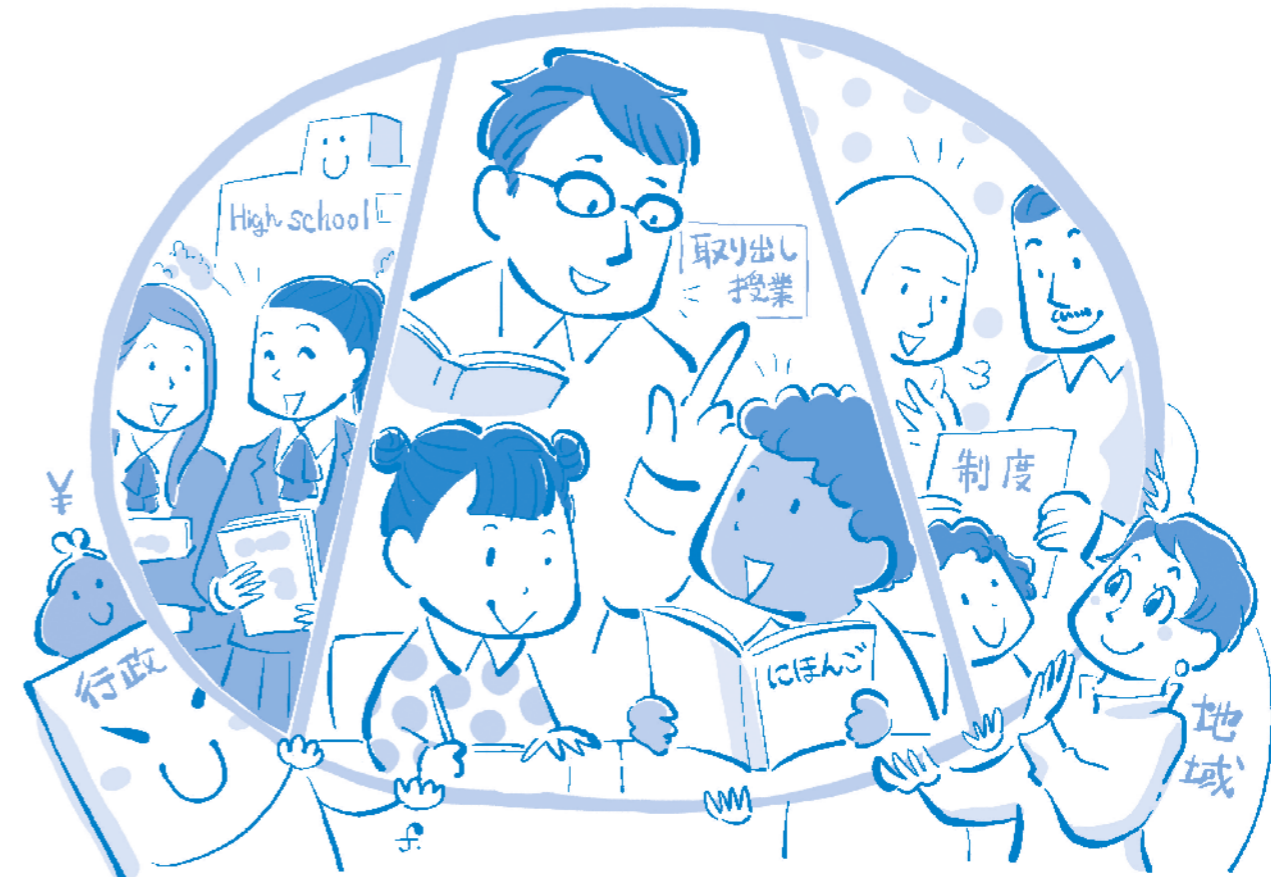
福岡YWCA

ハッピースクール
子ども日本語クラス

福岡YWCAの日本語教師養成講座を修了した有資格者によるていねいな日本語指導を行っている。学生、社会人ボランティアによる学科のサポートも充実。子ども同士の交流も盛んに行われている。

対象	6歳～18歳	1回あたりの参加者	25名	参加費	1回100円
活動日	土曜10:30～12:00(日本語クラス)、13:30～15:00(宿題クラス)				
場所	福岡YWCA会館	問い合わせ	tel 092-407-0895		

※2020年3月現在の情報



Column 2 もっと広がれ！ 夜間中学

公立中学の夜間学級(夜間中学)は、さまざまな理由により義務教育課程で十分な教育を受けられなかった人たちの学び直しの場。不登校だった若者、何らかの事情で中学校に通えなかった高齢者など、多世代の生徒を受け入れてきた。近年、学齢を超えた外国人の子どもたちの受け皿としても注目され、その数は全国の生徒数のおよそ8割を占めている。いわば夜間中学は「多文化共生社会」の先取りともいえるだろう。しかし、現時点で設置されているのは、9都府県33校に過ぎない。設置のない地域では、民間団体や教員免許をもつ有志がボランティアで運営する「自主夜間中学」の取り組みも見られる。

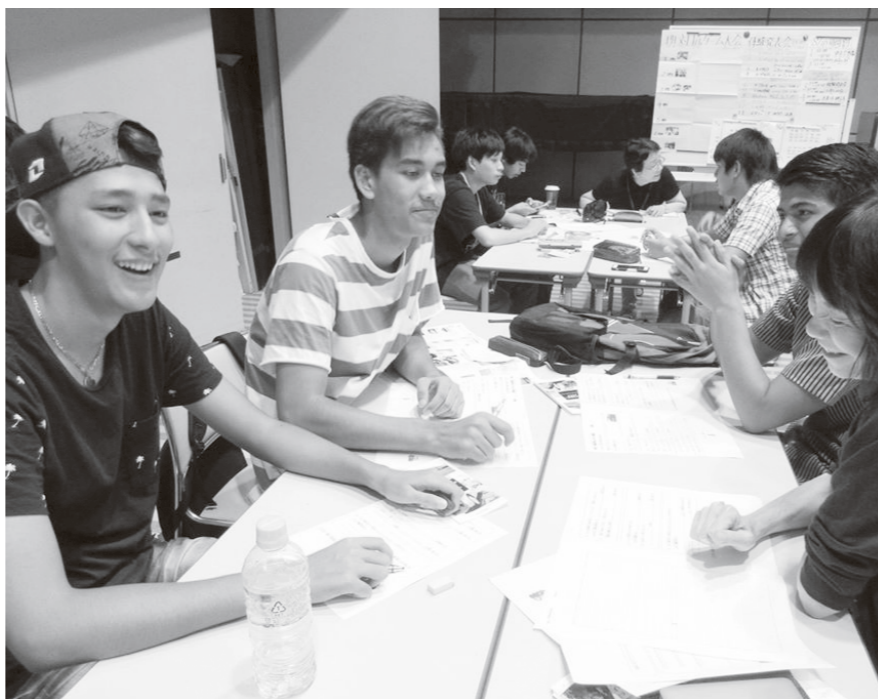
2016年、各自治体に夜間中学設置を促す「教育機会確保法」が施行されたことで、開設の動きが広がり始めている。一方で、日本語教育ができる教員の確保など課題もあり、まだまだ国の積極的関与が望まれる。また、それぞれの地域で夜間中学の必要性を呼びかけ、支援のあり方を探るなど、私たちにも開設の後押しができるのではないだろうか。

分断が生じるだろう。外国から来た子どもとその家族は、私たちと同じ市民だ。日本社会の今と未来を共に支える仲間なのだ。国籍がどこであれ、ルーツがどこであれ、日本に住むすべての子どもが等しく十分な教育を受ける機会が与えられるべきである。子どもたちを支援する人々は「情報不足」を指摘する。教育を受けられない子どもと保護者は、日本の教育制度を知らず、あるいは理解ができず、教育を受ける機会を逃してしまうケースも多々ある。行政による積極的な支援が急務とされるなか、2019年、日本語教育推進法が成立した。外国人に日本語教育を最大限確保

することを理念とし、国や自治体にもその責務があるとしている。地域の私たちにもできることはあるはずだ。もし身近に外国人の子どもや家族がいたら、困難な思いをしていないか声をかけてみよう。同じ地域の仲間として交流してみよう。地域レベルの小さな支援が、豊かな社会への一歩となるのだ。取材協力/東京YWCA武蔵野センター「いちごの部屋」、名古屋YWCA「グローバルスクール」

子どもたちは卒業してもたびたび「里帰りをしている。先日、ここから始めて定時制高校に進学した教え子が、就職の報告にきた。来日した当初は日本語ができず、しかし飛行機が大好きでパイロットに憧れていた彼は、定時制高校を卒業したあと、観光系の専門学校に進んだ。パイロットではなかったが、航空会社のグラウンドスタッフに採用され、空港で働くことを嬉しそうに語ったという。

教育を受ければ人生が広がる



「子ども日本語教室」は、小中学生クラス、高校準備クラス、高校生夜間クラス、高校生昼間クラスに分かれている



名古屋 YWCA Global School
グローバルスクール
子ども日本語教室

ここで、
安心して暮らせるように

愛知県の在留外国人の数は、東京に次いで全国2位。約27万人。県民のおよそ3%にあたる。「日本で最も子どもの日本語支援が必要な県」にあつて名古屋YWCAは、外国につながる子どものための日本語支援「グローバルスクール」を運営。その一つが「子ども日本語教室」だ。

外国から来た子どものリアル
21歳の誕生日は
定時制高校の受験日です

Aさん 20歳 アフガニスタン出身

アフガニスタンで、お母さんと弟、妹たちと暮らしていました。お父さんは日本で、車の仕事をしています。2016年、中学校のとき、お父さんに呼ばれてみんなで来ました。日本語はわからなかったけど、お父さんと会えるのは嬉しかった。中学校に行ったら、16歳だからダメだと言われました。だから日本語を勉強するために1年くらい日本語学校に行きました。日本語がわからなくて、どこに行っても緊張しました。ここに来たのは、先に弟が来たからです。この先生は、いろいろ教えてください。先生に勧められて、2年前から夜間中学に行ってます(※)。夜間中学はいいです。たくさん外国人がいます。たくさん友だちができて楽しいです。

昼間は働いています。前は仕分けをしていました。今はお父さんの会社でアルバイトをしています。働きながら学校に行くのは大変だけど、しょうがない。家ではパシュトゥー語で話します。お母さんは日本語がわかりません。だから一緒に買い物や病院に行きます。休みの日は家にいるか、友だちと出かけます。一番仲がいいのは、パキスタンとアフガニスタンの友だちです。名古屋はハラル料理の店がいっぱいあるから困らない。でも、友だちと街を歩いていると、警察が「ちょっと来て」「在留証明書を見せて」と言います。見せると「行っていい」と言います。

3月に21歳になります。誕生日は定時制高校の受験です。いま面接の練習をしています。高校に行ったら、たくさん勉強して、将来は車の輸出とか、ビジネスをしたいです。日本にきて一番よかったことは、日本語ができるようになったことです。(談)

「グローバルスクールに来るまで日本の教育制度を知らなかったので準備が足りず、高校に進学するために支援を受けながら」

り」をする。先生に近況を語り、ときに後輩の相談にのる。同じような境遇にあつて、困難や葛藤を乗り越えているお兄さんやお姉さんの叱咤激励は、子どもたちにとって何よりの励ましになるといふ。

卒業生の一人、Rさん(ネパール出身)はこう語る。

「グローバルスクールに来るまで日本の教育制度を知らなかったので準備が足りず、高校に進学するために支援を受けながら」

くさん勉強しました。がんばれば、進学できます。ここにいる子どもたちには、その機会があります。でも、多くのネパール人は、日本人とのつながりがありません。ネパール人同士ではつながっていますが、情報がないので、教育を受けようとしても、報が来ない。日本の教育制度や教育の必要性を、みんなに知ってほしい。教育を受ければ、人生が広がるんです」



教室の中は、笑い声が絶えない。いつもどこかのテーブルで、誰かが笑っている

外国人に寄り添い続けて

名古屋YWCAの日本語支援は、1978年、外国人のための日本語クラスに始まる。84年、日本語教師養成講座を開講。89年には、名古屋YWCA学院日本語学校を設立。日本語を教える人材を養成しながら、地域に暮らす外国人の「日本語を学びたい」という願いに応えてきた。

2011年から、子どものための日本語教室を開催。日本語教師の有資格者を中心とするスタッフ(先生)が、外国につながる子どもたち一人ひとりに寄り添い、日本語や学科の学習、進学を支援している。現在、「子ども日本語教室」には、小学生から高校生76人が通っている。中国、ネパール、フィリピンなど、出身も宗教も背景もさまざま。その一人ひとりの「ここに来

るまでの背景」を知ることが支援の最初の一步という。

声にならない声を聴く

授業は基本的にグループ学習だ。子ども2〜3人を1人の先生が受け持つ。グループ分けは、日本語のレベルや学力、背景や個性などを考慮して決める。

授業を進めながら、子どもの言動や表情、外見に変わりはないかと目配りする。元氣そうに見えても、子どもたちの誰もが大小のストレスを抱えている。声にならない声を聴き、対応を考えるのも大事な役割という。

授業は真剣だが、休み時間はぎやかだ。先生に今日の出来事を聞かせたり、友だちと母国の言葉でおしゃべりしたり。好きな女の子の名前を先生に打ち明け、バレンタインのチョコを渡して頼む男の子もいる。「お祈りしてくる」と、数分ほど教室を抜けるのはイスラム教徒の少年だ。ここでは、安心して「自分」でいられるのだ。

高校に進学しよう

子どもの数だけ課題はあるが、特に必要とされているのが「進学支援」。そのなかでも、困難なケースとなるのが、学齢超過



みんなでおにぎりを作った。誰もが安心して食べられる日本のソウルフードは、子どもたちにも人気

※民間団体が運営する自主夜間中学のこと。愛知県には公立の夜間中学がない